

平成19年3月9日

南海電気鉄道株式会社

みさき公園開園50周年記念イベントの一環

## 旧ゾウ舎が「メモリアル資料館」に生まれかわります

南海電鉄（社長：山中 諄）が経営する「みさき公園」（大阪府泉南郡岬町 / 園長：川尻 龍二）は、4月1日（日）に開園50周年を迎えます。

当園では開園50周年を記念して、旧ゾウ舎を平成16年に当園で亡くなったアジアゾウ「イズミ」の骨格標本を展示する「ゾウ記念資料ルーム」や「企画展示ルーム」などから構成される「メモリアル資料館」として転用します。

当園は、昭和32年4月1日に南海電鉄創業70周年記念事業として開園。これまで沿線のお客さまを中心に多くの来園者に支えられ、最近では動物の行動展示をはじめとした各種の取り組みを通じて、「動物が持つ本来の能力」を学習する機会を提供しています。

関西において唯一の私鉄系動物園となりましたが、今後も動物園・遊園地が一体となった複合型アミューズメント施設として、魅力向上に努めていきます。

「メモリアル資料館」についての詳細は別紙のとおりです。



メモリアル資料館（イメージ）



50周年モニュメント（イメージ）

< 別 紙 >

## メモリアル資料館について

同館は、「ゾウ記念資料ルーム」「企画展示ルーム」「プレイゾーン」の3つで構成されます。それぞれの特徴は以下のとおりです。

### 【1】メモリアル資料館の内容について

#### (1) ゾウ記念資料ルーム

平成16年にインドゾウ「イズミ」と「ミドリ」が亡くなって以来、未使用であった旧ゾウ舎2部屋のうち1部屋に「イズミ」の骨格標本や、ゾウに関する資料を展示します。

#### (2) 企画展示ルーム

旧ゾウ舎のもう1部屋は企画展示を実施するスペースになります。また同ルームでは、完成後まず最初に「50周年のあゆみ展」の開催を予定しています。

#### (3) プレイゾーン

ゾウ、ウサギ、アカカンガルー、ゾウガメの形をした体験型遊戯具を設置し、お子さまに遊び、学んでいただけます。

#### (4) その他

同館入口にはお客さまや動物への感謝の気持ちを込めて「50周年記念モニュメント」を設置します。デザインはアミメキリン、リスザル、カマイルカ、トラ、ウミガメの5つの動物をデザインしています。また、頭文字を取って「ありがとう」と読んでいただけるものとなります。

### 【2】完成予定時期

平成19年4月中旬

以上